

平成 27 年度

事業報告書（案）

社会福祉法人 田辺市社会福祉事業団

平成27年度事業計画作成時の想定通り、高齢者人口が増え続け、政府は出生率向上を図るための施策を実施していますが、保育所入所待機者が多くいて、その解消に全国的な声となるなど、必ずしも労働者人口の増加に繋がるような生活環境にはなっていません。当法人の関係する、高齢者福祉事業関係についても、国は事業費の膨張を制限しようとの意向から、介護報酬率の削減を27年4月から実施されました。

これらに対処するため、27年度から制度化された、法人職員が保持する資格を評価して、有資格者による処遇を行えば、介護報酬に加算が乗る制度を活用する等により、報酬削減幅を圧縮しました。

このほか、経営環境的には市域に高齢者事業所が増えており、通所介護事業等では、ご利用者の奪い合いの状況となっています。当事業所には、短期宿泊事業や特養等の入所事業所を保持していないことから、ご利用者の獲得に有利な条件がなく、ご利用者の減少が顕著に現れ収入減となりました。

施設設備の経年変化による機能劣化や、耐用年数超過による機能停止が発生するなどの課題が多くなっており、都度機能回復を図ってきています。これらの費用支出が法人収支に少なからず影響するようになりました。

今年度も、たきの里のご利用者が安定した生活を継続できるよう、その方々の現状を把握解析して課題を抽出し、課題解決と生活の質を向上していただけるように、サービスを展開してきました。

経過の中で、特段の集団感染等に罹ることなく過ごしていただけました。

養護やケアハウスの事業特性から、重度の介護に対処できないところがありますが、関係事業所のご理解のもとで、施設からの移籍移行についても、適時に実施出来ております。

しかしながら、入居者の外出先事故死という事件の発生がありました。このことの発生を受け、再発防止のため見守りの強化や外出時の手順対策の強化等対策を行い対処しました。

平成27年度 事業報告

社会福祉法人田辺市社会福祉事業団

平成27年度事業計画作成時の想定通り、高齢者人口が増え続け、政府は出生率向上を図るための施策を実施していますが、保育所入所待機者が多くいて、その解消に全国的な声となるなど、必ずしも労働者人口の増加に繋がるような生活環境にはなっていません。当法人の関係する、高齢者福祉事業関係についても、国は事業費の膨張を制限しようとの意向から、介護報酬率の削減を27年4月から実施されました。

これらに対処するため、27年度から制度化された、法人職員が保持する資格を評価して、有資格者による処遇を行えば、介護報酬に加算が乗る制度を活用する等により、報酬削減幅を圧縮しました。

このほか、経営環境的には市域に高齢者事業所が増えており、通所介護事業等では、ご利用者の奪い合いの状況となっています。当事業所には、短期宿泊事業や特養等の入所事業所を保持していないことから、ご利用者の獲得に有利な条件がなく、ご利用者の減少が顕著に現れ収入減となりました。

施設設備の経年変化による機能劣化や、耐用年数超過による機能停止が発生するなどの課題が多くなっており、都度機能回復を図っています。これらの費用支出が法人収支に少なからず影響するようになりました。

今年度も、たきの里のご利用者が安定した生活を継続できるよう、その方々の現状を把握解析して課題を抽出し、課題解決と生活の質を向上していただけるように、サービスを開展開してきました。

経過の中で、特段の集団感染等に罹ることなく過ごしていただけました。

養護やケアハウスの事業特性から、重度の介護に対処できないところがありますが、関係事業所のご理解のもとで、施設からの移籍移行についても、適時に実施出来ております。

しかしながら、入居者の外出先事故死という事件の発生がありました。このことの発生を受け、再発防止のため見守りの強化や外出時の手順対策の強化等対策を行い対処しました。

平成27年度は、定めた事業計画に対し、次のような対処を実行してまいりました。

☆法人運営理念

1. たきの里に「和」を醸成しよう。
2. 地域に不可欠な施設として存在しよう。
3. 利用者に喜ばれる良質なサービスを提供しよう。

☆基本方針

多喜を求める人のために役立つ、「たきの里づくり」の気運を高めて、より良い「和の醸成」を行うとともに、たきの里に縁ある人々の志（こころざし）をうまくまじえ、利用者本位のサービスを質高く提供することをめざします。

☆目標（近未来の目標）

- 施設利用者の活性化を図る・・適切な処遇の計画と展開・結果の分析
- 職員処遇の改善・・・実績の還付・評価・研修育成・適正採用
- 法人の適正運営・定期業務の実施・収支バランス保持・将来動向の見極め

事業計画の骨子

1. ご利用者の健康管理と行動力強化

近年、ご利用者の様態が多様化し、要介護者の増加や認定度上昇が見られ、意思疎通の困難な難聴者や認知症発症者が多くなっています。

介護の質に対するご利用者やご家族の期待に応えるとともに、ご利用者の日々の健康管理に努め、健康寿命の延伸や、残存機能の維持活用のための様々な支援をおこなってまいりました。

2. サービス体制の強化

前項記載のとおり、近年では、日常生活において何らかの介護を必要とするご利用者が増加の一途を辿っており、介護現場では、これまで以上に高い専門知識と技術力が求められています。

この課題についての対応力を強化するため、本年度は、和歌山県老人福祉施設協議会が主催する介護力向上研修会（全6回）に介護・看護職員数名のチームを参加させました。本研修会は、科学的エビデンスに基づいた事例検討を積み重ねるとともに、それを介護実践につなげ、同時に、事業所内における伝達学習により、全体的な介護力の向上を図ることを目的としております。

県内では唯一、養護老人ホームからの参加でありましたが、事業所における一体的な事

例検討・分析等により、結果として要介護者への対応力の向上が図られています。

今後もより一層、専門性の高い高品質なサービスを継続的に提供し、ご利用者のQOLの向上のための研鑽を重ねてまいります。

また、施設内においても職員の研修等を適時に開催するとともに、外部の研修会にも積極的に参加させ、同業事業者との情報交換等により職員資質を向上させ、もってサービスの質的向上に取り組んでまいりました。

3. 防災対策

近年、発生の恐れが高まっているといわれる、南海トラフにおける巨大地震に対し、施設設備の適正保守および日常点検の強化に努めるとともに、定期的な防災訓練を実施しました。

また、防災、減災に関する各種研修会に職員を受講させ、情報共有することにより、全体的な防災意識の高揚を図ってまいりました。

4. 施設の保守管理

施設開設後18年経過し、老朽化や耐用年数の超過した設備や備品が増加しています。これらについて、本年度は特に緊急性及び切迫性の高い案件を優先し、買換・取替・更新等の対処をおこないました。

本年度初旬には、施設内共用部分において不具合の生じていた照明器具49台の更新をおこない、また、機能が全廃していた浄化槽の換気ファンについても改修し、本来の換気機能を復帰できています。

大きな課題となっている給湯配管からの漏水は、今年度中も頻回に発生しており、そのたびに法人職員により補修、または業者による配管の入替工事により対処してきました。

問題すべてを解消するために、更新等改修が必要な配管は、相当な箇所が残されている状況にあります。

更に、地域の指定避難所であり、90名余の入居者が生活されているたきの里には、危機管理面に大きな脆弱性が存在しています。

まず、自然災害等で電気の供給が停止すると、施設設備が完全に停止して食住の機能が失われます。この対応には一定の能力を持った自家発電装置が必要と考えています。

また、建物外部の防水塗装は基本耐用保障年数が10年とされており、塗装の劣化は酸性雨や塩害の影響を建物に及ぼします。結果的に躯体コンクリートの劣化から耐震強度を低下させるので、建物外壁塗装他のメンテナンスが必要となっています。

建物や設備自体の脆化対策と合わせて、大規模災害によるインフラダメージ対策等についても、さらに研究、改善を進めていく必要があります。

平成27年度田辺市高齢者複合福祉施設「たきの里」各施設の事業計画を以下の通り実行しました。

(社会福祉事業)

1. 田辺市社会福祉事業団本部事業について

- 1, 運営動向を常に把握して分析を行い、結果に適した修正をおこない、もって適切な事業団運営に取組みました。

制度改定にも対応して健全な運営の維持につとめ、会議や機関誌等々、あらゆる機会を通じて外部情報を取得し、事業運営に生かしてまいりました。

- 2, 法人内部の月例報告等を通じて現況を共有するともに、共通の目標意識をもって健全な会計運営に努めてまいりました。

- 3, 法人・施設等の情報等について、適切に公開・開示しました。

- 4, 施設職員の資質向上にむけた研修会を定期的に実施しました。

一般研修・・・会計研修・認知症・レクリエーション

人権研修・・・人権研修

その他・・・社会福祉主事資格認定通信課程

- 5, 人事管理の適正化を推進し、採用から職員育成の在り方検討と共に、職責の明確化に取り組みました。

2. 養護老人ホーム「千寿荘」

①定員 養護老人ホーム 76名及び生活管理指導短期宿泊事業分 2名

②職員 16名 短時間勤務1名

③事業運営計画

養護老人ホームでは、過去の生活スタイルや人生経験の異なる入居者に対応し、充足感に満ちた生活を送っていただけるよう、援助・助言・生活支援・見守りを実行してまいりました。また、明るく開放感の有る施設運営・家庭的な雰囲気作りを心掛け、自宅生活と同じ心境で過ごしてもらい、更に日々の生活では協調性・連帯感をもって集団生活を営んでいただけるように留意し、個々の状況に即した役割と自己責任の実行を求めると共に、適切な支援に努めてまいりました。

最近特異な行動をされる入居者がおられ、他の入居者や職員が行う接遇に影響が及ぶことがあります、都度注意を行いますがその性癖は改めてもらえません。このための気配りや防止対策を検討し実施して、自覚を促すための対応を継続中です。

施設運営計画では、毎月の懇談会、行事毎の実行委員会、意見箱の設置等、入居者との垣根を無くす為に意見の交流をおこないました。それにより問題意識を入居者と共有し、よ

り一層生活がしやすい施設づくりを推進してきました。

③-1 入居者処遇計画作成と実践

入居者の処遇計画では、入居者個人の有する相違を尊重しながら適切な状況把握に努め、それに配慮した詳細な個別処遇計画の策定をしてきました。また、P D C Aサイクルによる処遇計画等の継続改善にも努めました。

四季折々に執り行う季節関連行事や文化活動への参加の呼び掛けを通じて、入所者間の交流の促進をはかりました。個々の趣味・特技を活かした創作・文化・クラブ活動を推進し、安らぎと充実感を備えた生活環境の構築をめざした支援をおこないました。

③-2 家族交流

入居者の親族との連携を密にするために、親族が入居者の適切な状況把握ができるよう、所要の報告や行事活動等の情報提供をおこないました。

③-3 在宅生活移行支援

養護老人ホームに求められる役割のひとつである、地域生活への移行に向けた“通過施設”としての支援を意識してきております。入居者の意見・意欲・能力を鑑み、地域生活への移行が実現したケースが1件ありました。

③-4 施設生活支援（嘱託医健診、千寿荘体操竹踏み体操）

加齢に伴い、何かと不自由の増加が顕著な入居者に対応した、健康の維持促進に努めてまいりました。そのため、体力の維持増強を目的とした機能訓練（千寿荘体操・竹踏み体操・リハビリ体操）を実施し、また、嘱託医の受診機会を週1回の割合で設け、生活習慣病・感染症の予防・改善、慢性疾患や持病等の悪化予防に寄与してまいりました。

食事面にも注目し、食べる喜びと楽しみを実感していただけるよう、個々の状況のモニタリングに努め、適宜、評価・再検討を実施してまいりました。

③-5 介護保険利用支援

要介護認定を受けている入居者には、介護保険サービスの受給を受けられるよう円滑な援助をおこないました。これらの方々には『特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者介護サービス』を適切に利用していただけるよう支援します。

④日課・・・生活支援のための見守りを中心に、危険回避及び自立支援を意識した援助を実施しました。

起床時 安否確認 更衣確認 介助 洗面 排泄

朝食時 朝食摂取 口腔ケア 服薬確認

健康管理 体温・血圧測定 竹踏み体操 通院 入浴 居室清掃

昼食時 昼食摂取 口腔ケア 服薬確認

午後 レクリエーション クラブ活動 竹踏み体操 外出届 出金依頼

夕食時 夕食摂取 服薬確認

就寝時 更衣確認介助 排泄 就寝確認

深夜帯 巡回安否確認 介助

⑤その他

行動範囲が相対的に狭くなっていますので、活動の活性化のため、歩行訓練や屈伸等の筋力維持をめざした運動メニューの参加を励行してまいりました。

3. ケアハウス「神島」

①定員 15名

②職員 2名

③事業運営基本計画

近年の利用者像は自立した入居者が減少し、介護サービスを利用される方が多くなっています。「幻覚」を訴える方や「物の無くなり」を訴えられる方も少なくなく、個別ニーズから、意見や要望に添って、柔軟に対応することや、少人数である事をメリットとして活かし、利用者の自主性、相互扶助精神を大切にした雰囲気作りに努めてきました。

利用者が自立した生活ができるだけ続けられるように、気軽に相談に応じ、利用者ごとの個別処遇計画にそって個別処遇を実施するとともに、事後評価による継続改善に努めました。

要介護認定を受けた利用者には、円滑なサービス利用が図られるよう、適切な支援をおこないました。

ご利用者の健康の維持増進のため、定期の健康検査を実施し、生活習慣病予防ほか慢性疾患等悪化防止に努めました。また、機能訓練への参加を呼びかけ、生活維持能力の増進に取り組みました。

また、把握している個々の心身状態やニーズ等より、ご利用者が楽しんでいただける行事などを企画立案し、実施してまいりました。

④日課

起床時 安否確認 更衣確認介助 洗面 排泄

朝食時 朝食摂取 口腔ケア 服薬確認

健康管理 体温・血圧測定 竹踏み体操 通院 入浴

昼食時 昼食摂取 口腔ケア 服薬確認

午後 レクリエーション クラブ活動 竹踏み体操 生活相談

夕食時 夕食摂取 服薬確認

就寝時 更衣確認介助 排泄 就寝確認

深夜帯 巡回安否確認 介助

4. たきの里デイサービスセンター

①利用人員

・通所介護事業 35人（1日）（介護保険事業）

- ・介護予防通所介護事業 (介護保険事業)
 - ・通所介護事業（障害者） 5人（1日） (支援費事業)
 - ・田辺市二次予防通所型介護予防事業 5人（1日） (田辺市受託事業)
- ②職員 7名 短時間勤務1名
 ③事業運営基本計画

介護保険制度による通所介護事業所・介護予防通所介護事業所を運営するとともに、支援費制度及び、生きがい活動支援事業・田辺市二次予防通所型介護予防事業を運営していました。

サービス提供の基本方針としては、利用者から選択される、サービスの提供を行うことを基本に、職員の資質の向上をはかり、利用者本位のサービスの提供を行うものとしております。

そのため、利用者が自ら集団をつくり、その中でお互いに関わり合い、それらを通じて楽しい経験を積み重ねていけるよう計らうなど、利用者の主体性を大切にして、諸事業を計画し実施しました。

田辺市二次予防通所型介護予防事業は、要介護状態等への進行を防ぐため、比較的リスクの低い、運動向上トレーニングを週1回実施するとともに、定期的に効果測定を行い、個々の基礎体力の向上を目指して実施しました。

④日課

朝礼	職員日程確認
迎車	在宅訪問
受け入れ	水分補給、健康チェック、手帳確認、体調確認、要望確認
入浴	入浴サービス提供、身体変化の有無確認、
健康体操	嚥下体操
昼食	昼食摂取
休息	
午後	レクリエーション 外出、喫茶の週、
おやつ	おやつ摂取、体調確認、連絡帳記入
送り	在宅送り届け
記録整理	個人情報記録

たきの里地域福祉交流センター

たきの里と地域住民との交流の場として、積極的に視察研修等を受け入れるとともに、資格取得実習者についても受け入れをおこなってまいりました。また、過年度と同様に、知的障害者の社会参加と就労の訓練の場となっている、福祉ショップの運営に対しても支援をおこなっております。

そのほか、田辺警察署交通課と共にによる地域にお住まいのシニア世代を対象とした交通

安全教室を開催し、また、和歌山家庭裁判所からの非行少年補導委託の受託などの地域貢献事業を、積極的に実施してまいりました。

5. たきの里訪問介護事業

職員 13 (兼務 11名) (常勤換算 3名)

事業運営基本計画

事業所訪問介護職員は要介護者及び要支援者の心身特性を的確に踏まえ、その有する能力に応じた自立生活の実現を支援してまいりました。加えて、可能な限り利用者が在宅にて健やかな生活の存続を適えられるよう維持向上・改善を図り、かつ要介護状態の悪化を予防し、充足感に満ちた日常生活の営みを支援することを目標とし、入浴・排泄・食事・居室清掃・その他生活全般に亘る援助を提供してまいりました。

その支援を通じ、利用者の残存機能の活用と意欲的な余生の充実を実現してもらえるよう今後とも研鑽を怠らず、多種多様で変化に富むニーズに対応した支援を実施しました。

また施設職員が積極的に地域社会と関わり合う事により、貪欲に情報を吸収し専門性を高めると共に、地域住民へ要介護者の現状をアピールし協力を願える社会の実現を模索していく、訪問介護サービスの質の向上を図っていく所存です。

(公益事業会計)

6. 居宅介護支援事業

①職員 2名 (専従 2名)

②事業運営基本計画

利用者の心身の状況、その置かれている環境に応じて、その利用者が可能な限り居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の立場に立った中立・公正な支援を実施してまいりました。

具体的には、利用者の心身機能、活動（生活）、参加（人生）を理解し、十分なアセスメントを行い、そして、それによって生活課題の改善が図られたか客観的評価も確実に実施するとともに、適宜、サービス事業所や行政等との連携、調整を図ってまいりました。

加えて、利用者に対しての質の高いサービス提供が行えるよう介護支援専門員の資質の向上のための研鑽を重ねてまいりました。

③目標

○居宅介護支援事業の提供に当たっては、親切丁寧を旨とし、利用者・家族に対しサービスの提供方法について、理解しやすいように説明を行うものとしました。

○介護支援専門員 1人あたりの標準担当件数を毎月、介護保険利用者 35 件、介護予防利用者 8 件を確保することと計画していましたが、担当介護支援員の予期せぬ退職があり、同職員の担当していた要介護者や要支援者が持ち出されるような状況となり、大幅な収入減が発生しました。困難ながら今後新規の契約者を確保する努力が必要と

なっています。

- 運営基準減算数に該当しないように、運営規程に基づき利用者の個別訪問、評価、担当者会議等を確実に実施しました。
- 専門職としての、業務を的確に行えるよう内外的な研修会にも参加し、資質向上に努めました。
- 利用者、家族、医療機関、サービス事業者との連携を密にし、利用者本人に最も適切な支援を継続的かつ計画的に行いました。
- 苦情処理体制については、利用者、家族が安心してサービスを受け入れられるよう、不満や苦情に迅速かつ適切に対応できる体制を整えております。

④月例事業計画

- ・相談支援、個別訪問、ケアマネジメント（課題分析→介護計画作成→評価）
- ・担当者会議、給付管理業務、各種サービス等申請代行

7. 特定施設入居者生活介護

（養護老人ホーム千寿荘特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護事業）

①定員 76名

②職員 16名（兼務 15名）（常勤換算 5名）

③事業運営基本計画

特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護事業の基本業務として、以下の生活介護支援を実施しました。

- ア) 利用者ニーズの把握と生活相談、
- イ) 介護サービス計画の作成、
- ウ) 安否の確認、
- エ) 契約による介護サービス事業者のサービス提供体制の確保、

利用者が要介護状態、要支援状態となった場合においても、その心身の状況や、置かれている環境等に応じて、利用者やその家族の意向を基に、必要な支援を行います。サービスの提供に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの、緊密な連携を図り、適切かつ円滑に、総合的な介護サービスが提供されるように努めております。

養護老人ホーム千寿荘

I, 年間行事

事業名(内容)	年間回数及び実施状況
避難訓練	地震・火災想定避難訓練(消防指導)年2回
入居者健診	年1回
レントゲン健診	年1回
インフルエンザ予防接種	インフルエンザワクチン接種 年1回(11月)

II, 月例行事(入居者参加行事)

行事名	内容
誕生会・懇談会	当月に誕生日を迎える方のお祝い及び入居者相互の意見交換会 施設情報提供
誕生月者食事会	当月に誕生日を迎えた方に健康長寿をお祝いする食事会
各クラブ活動	生け花、カラオケ、レクリエーション、御詠歌、唱歌クラブ、家庭科、美術
食堂掃除	月2回 入居者とともに食堂の清掃作業

III, 施設定例行事

行事名	実施回数及び内容等
入浴	毎週月・水・金曜日
シーツ交換	月2回(隔週)
健康管理	毎月1回体重・血圧測定及び健康相談
嘱託医往診	週1回串医院(串誓二院長)往診
散髪	2ヵ月1回理髪店(ウッド様)により、希望する入居者の散髪
パーマ、毛染め	田辺美容組合様により、希望者のパーマ、毛染め

IV, 月別行事実施状況

実施月	行事名	内容
4月	桜の花見	
	春の遠足	南紀白浜アドベンチャーワールド
6月	ホタル観賞会	夕刻より市ノ瀬、鮎川方面にてホタル観賞
7月	七夕会	笹飾り付け、納涼流しそうめん
8月	夕涼み会	夏祭りによる地域交流会
9月	敬老行事	敬老祝賀行事 (長寿記念式典・祝賀会・芸能会)

11月	秋の遠足	・周参見町エビとカニの水族館 ・紀勢自動車道 道の駅くちくまの
12月	忘年会・クリスマス会	忘年会としての特別食事会 入居者、職員出演の演芸会
1月	初詣	白浜町三所神社へ新年の参拝
2月	節分会	職員・入居者が鬼や福娘に扮し、豆まき
	観梅	田辺市内の梅畠を車で巡る花見ツアー

V. その他の事業・行事等

事業名・行事名	内容
個別外出企画	入居者個別の外出ニーズに合わせた外出企画 随時
希望に合わせたグループでの外出企画	随時
地域交流	地域の小学校、保育園との交流会 随時
非行少年の補導委託	田辺家庭裁判所からの年少者補導委託(社会奉仕活動)受入れ。
高齢者のための交通安全教室	田辺警察署交通課の協催による、シニア世代向けの交通安全教室。
不在者投票	4月 和歌山県議会議員選挙不在者投票

ケアハウス神島

I. 年間行事

事業名(内容)	年間回数及び実施状況
避難訓練	地震・火災想定避難訓練(消防指導)年2回
入居者健診	年1回(5月)
レントゲン健診	年1回(11月)
インフルエンザ予防接種	インフルエンザワクチン接種 年1回(11月)

II. 月例行事(入居者参加行事)

行事名	内容
各クラブ活動	園芸、生け花、手芸、カラオケ、レクリエーション、御詠歌、
各クラブ活動	唱歌

III, 施設定例行事

行事名	実施回数及び内容等
シーツ交換	毎週1回
健康管理	毎月1回体重・血圧測定及び健康相談
嘱託医往診	週1回串医院(串誓二院長)往診
散髪	2カ月1回理髪店(ウッド様)により、希望する入居者の散髪

IV, 月別行事実施状況

実施月	行事名	内容
4月	4月の外出	食事会及び買い物等
6月	6月の外出	(夕刻より)白浜町内ノ川にて蛍鑑賞会
7月	7月の外出	ドライブ 白浜椿方面周遊
8月	夕涼み会	夏祭りによる地域交流会
9月	敬老行事	敬老祝賀行事 (長寿記念式典・祝賀会・演芸会)
10月	10月の外出	周参見町「エビとカニの水族館」
		田辺市内買い物
11月	11月の外出	中辺路町紅葉狩りドライブ (福定・宝泉寺大銀杏ほか)
12月	忘年会・クリスマス会	忘年会としての特別食事会及び入居者、職員出演の演芸会
1月	1月の外出	初詣(田辺・鬪鷦神社)
		田辺市内買い物
2月	2月の外出	田辺梅林観梅ドライブ
	節分会	職員・入居者が鬼や福娘に扮し、豆まき
3月	3月の外出	外食

V, その他の事業・行事等

事業名・行事名	内容
地域交流	地域の小学校、保育園との交流会 随時
高齢者のための交通安全教室	田辺警察署交通課の協催による、在宅シニア世代向けの交通安全教室。
不在者投票	4月 和歌山県議会議員選挙不在者投票

デイサービスセンター

I 定例事業実施状況

①月例

事業名・行事名	内容
楽しいデイ	半日外出の取り組み
喫茶の日	福祉ショップ(ゆうゆうショップ)の喫茶コーナーを利用
室内レクリエーション	レクリエーションゲーム、脳トレゲーム、ちぎり絵等
体重測定	毎月1回
趣味活動	俳句、手芸、絵画作品等の展示

②随时実施

事業名・行事名	内容
誕生日会	誕生日を迎える利用者のお祝いをする会

II 月別事業実施状況

実施月	行事名	内容
4月	4月楽しいデイ	新庄総合公園
	喫茶の日	福祉ショップ(ゆうゆうショップ)の喫茶コーナーを利用
	室内レクリエーション	
5月	5月楽しいデイ	田辺スポーツパーク、周辺をドライブ
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
6月	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
7月	楽しいデイ	紀勢自動車道(和歌山県区間)ドライブ
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
	七夕会	七夕の笹飾り
8月	夏祭り	盆踊りやヨーヨー釣りで、夏祭りの雰囲気を楽しんでいただく催し
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
9月	敬老会	ご利用者の敬老長寿をお祝いする催し

	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
10月	10月楽しいデイ	白浜長生の湯 足湯
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
11月	11月楽しいデイ	南紀白浜空港フローライン ドライブ
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
12月	12月楽しいデイ	南紀白浜とれとれ市場 買い物
	喫茶の日	
	クリスマス会	サンタクロースに扮した職員より、ご利用者にクリスマスのプレゼント
	室内レクリエーション	
1月	1月楽しいデイ	初詣(田辺鶴鶴神社へ新年の参拝)
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	
2月	2月楽しいデイ	海鮮せんべい南紀 買い物
	喫茶の日	
	節分会	
	室内レクリエーション	
3月	楽しいデイ	白浜町富田 桜の花見。
	喫茶の日	
	室内レクリエーション	



養護 春の遠足

養護 春の遠足

外出支援活動



国体花いっぱい運動に参加

デイ二次予防外食

螢鑑賞会

たなばたの納涼流しそうめん



夕涼み会

夕涼み会

夕涼み会



エントランススタイル床修繕

エントランススタイル床修繕

4階通路給湯配管漏水

4階通路給湯配管漏水



敬老行事 式典

敬老行事 式典

敬老行事 祝賀舞踊

敬老行事 祝賀舞踊



敬老行事 お祝い食

敬老行事 演芸会

敬老行事 演芸会

敬老行事 演芸会



			
高松宮妃奉迎	秋の夕暮れ	サツマイモ収穫交流会	サツマイモ収穫交流会
			
とれたての芋で焼きイモ	排水管割れによる施設前舗装陥没	施設前舗装陥没修繕工事	施設前舗装修繕工事
			
地域イベントにボランティア参加	2階 給湯配管漏水発生		クリスマス会
			
クリスマス会	クリスマスの地域交流イベント	2階渡廊下 給湯配管漏水	2階渡廊下 給湯配管漏水
			
4階廊下 給湯配管漏水発生	クリスマスイルミネーション	クリスマスイルミネーション	玄関前 正月飾り
			



火災想定 避難訓練

水消火器による初期消火訓練

水消火器による初期消火訓練

養護浴室 配管漏水改修工事



新二小児童との交流会

節分イベント

節分イベント



倉庫内で給湯管漏水

タヒチアンダンスサークル訪問

タヒチアンダンスサークル訪問

タヒチアンダンスサークル訪問

